

大原中だより

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397
FAX 048-835-1357
第 2 号

はつらつとした学校、地域に輝く学校

平成30年5月1日(火)

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

「一人ひとりが、はじめの一步！」

こばやし ひろ とし
校長 小林 広利

毎朝、地域の方々に見守られ、元気に登校してくる生徒たち。部活動においても、朝練習の開始から真剣な練習が続いています。

さて、平成30年度が、スタート1ヶ月が過ぎましたが、自分のペースをしっかりとつかみ、一步一步前進していますか。1年生も学校生活に慣れましたか。今、君自身が歩み出している一步は、決して他人の歩みではありません。中学校生活を充実したものにしようと、毎日過ごす時間を「一步一步」と表現するならば、それは自分自身の人生の歩みであり、自分自身で責任をもって進むべき道だと思います。



【学級活動で話し合いを行う】

「自分の道は、自分でしか切り開けないんだよなー！」これは、私が小学校で3年間担任をしてくださった恩師の口癖です。勉強でも部活動でも、何事においても、他の人よりも一步先を歩むからといって、優れていると気を緩めてはいけません。他の人と違うからといって、決して劣っているわけではありません。どんな小さな夢や希望でも、自分はこうなりたい、これをできるようにしたい、これを続けたいなど目標をもって進むことが大切だよ。今になって、恩師の言葉がそう聞こえます。

ワシントンにあるアーリントン国立墓地には、アメリカ史上最も若くして大統領選に勝利した John F. Kennedy 大統領が眠っていますが、その円形のテラスには、彼が第35代大統領として1961年1月に行った有名な大統領就任演説の一文が刻まれています。

『ask not what your country can do for you...

ask what you can do for your country.』

「祖国があなたに何をしてしてくれるかを尋ねてはなりません、あなたが祖国において何ができるか考えて欲しい」と。

そこで、生徒の皆さんには、年度初めに次の言葉を送ります。

『ask what you can do for your friends, and for your school.』

「皆さん一人ひとりが、友達のため、学校のために何ができるか考えてみよう」

大きな声であいさつするもよし、掃除を一生懸命にやるもよし、友達と一緒に教えあいながら勉強するもよし、友達と協力して部活動に燃えるもよし。

どのようなことでも、それがはじめの一步です。仲間とともに、さあ、行動に移しましょう。人生のたった一度の中学校生活です。思い出の多い、充実した中学校生活を自分自身で、友達とともに築き上げましょう。中学校生活を満足させるのも、不満を言うのも、心がけ次第です。皆さん一人ひとりが、自分の一步に自信をもち、友達の一步を励ましながら、全員で高め合える大原中学校を築き上げていこうではありませんか。

ホームページを新たにいたしました。「希望あふれる大原中づくり推進活動」の計画をUPしましたのでご覧ください。今後とも、大原中学校の教育活動にご支援・ご協力をお願いいたします。